

本号の編集は、特集を池内敏が、研究論文・レビューを飯田祐子が担当した。特集については、「国境未満」という新語の問題提起的な含意を、読者のみなさんにも共有していただければと思う。出来事の細部に分け入ると、もの見え方は単純になり得なくなる。自分と他者の線引きも、歴史の細部あるいは現在起こっている出来事の細部を知れば、不変のものでも不動のものでもなくなる。細部を知ること、そして出来るだけ近づいて知ることが大切なのだろうと自戒を込めて思う。近づけば拡大する。拡大すれば、一本の線が点の集まりであることがわかる。その点に近づけば、それが一色ではなくて、さまざまな色によって構成されていることが見えたりする。さらに近づけば……。事態を単純に切り分けることができなくなるはずである。

研究論文とレビューについては、まずは投稿してくださったみなさんに感謝したい。そして査読をお引き受けいただいた方々に、お礼を申し上げたい。ご協力のおかげで今号にも読み応えのある論文を掲載することができた。投稿数が前号に比して増加したことを報告しておきたい。次号にも多くの論文が投稿されるよう期待している。レビューには、投稿のものだけでなく、お願いして書いていただいた論考も含まれている。ご寄稿に心より感謝したい。

デザインは今号も金武智子さんをお願いした。デザインの意図をご説明いただいたわけではないが、表紙の深く柔らかな青に海を思うのは私だけではないと思う。英語のネイティブ・チェックはトーマス・カバラさん、校正作業は大山僚介さんと藤田祐史さんをお願いした。ご協力いただいたみなさんに、感謝申し上げます。

(飯田祐子)